

静岡県図書館協会会報

No.87 令和8年2月28日発行

編集・発行 静岡県図書館協会 静岡市駿河区谷田53番1号 静岡県立中央図書館内



令和7年度 第32回

静岡県図書館大会

第32回静岡県図書館大会が、令和7年12月1日（月）にグランシップで開催されました。今年度は全国公共図書館研究集会を兼ねての開催となり、県内外から多くの参加者が集いました。

開会式は山梨和美大会運営委員長（静岡市立中央図書館館長）が司会を務め、高橋健二静岡県図書館協会会長（県立中央図書館館長）の主催者挨拶で始まりました。

表彰式では、優良読書グループ7団体に、表彰状と記念品が贈られ、代表して、「富士市学校読み聞かせネットワーク（富士市）」様から、受賞の喜びのお言葉をいただきました。そして、長年にわたり図書館活動の発展に尽力され功労のあった図書館職員の皆様を紙面で紹介し、感謝の拍手を贈りました。

続いて、午前は、大場博幸氏（日本大学文理学部教授）に「公立図書館と新刊書籍市場の曖昧な関係～図書館の蔵書傾向および書店支援～」と題してご講演いただき、新たな知識を得ることができました。

午後は、6つの分科会、第1分科会「みんなの図書館とまちづくり（土肥潤也氏）」、第2分科会「誰もが楽しめる電子図書館～将来性と活用のヒント～（家禰淳一氏）」、第3分科会「へなそうるの森から くらしと物語（渡辺鉄太氏）」、第4分科会「POP 王に学ぶ！学校図書館で活かす POP の力（内田剛氏）」、第5分科会「図書館と展示～企画展示が導く知識との出会い～（河合郁子氏・的場ひろし氏）」、第6分科会 事例報告「静岡書店大賞：静岡県の読書推進に向けて（河口雅哉氏）」、調査報告「人口減少社会における図書館と地域の関係性とこれからのあり方（大谷康晴氏）」研究協議、情勢報告（植松貞夫氏）が開かれ、バラエティに富んだ内容の講義となりました。

各講義の概要は、大会記録集に掲載します。



静岡県図書館大会

URL:<https://www.tosyokan.pref.shizuoka.jp/contents/toshokantaikai/index.html>

公式Xやってます！



静岡県図書館大会 (@tosyokan_taikai)



焼津市立大井川図書館

ボードゲームを通じて 本と人をつなげる図書館を 目指して

焼津市立大井川図書館では、ボードゲームを図書館資料として導入しており、この取り組みは、図書館利用の促進や利用者の交流、コミュニケーション能力の向上を目的にしたもので、読書普及・地域コミュニティの活性化につながると考えております。デジタル化が進む現代において、アナログなボードゲームの魅力を伝えることが、地域の読書活動を盛り上げるための重要な要素だと思いました。

2025年には、大井川図書館がゲーミング図書館アワードの大賞を受賞しました。これは、ボードゲーム資料の充実や、ゲーム性のあるイベントの開催等が評価されたものです。私たちの取り組みが地域コミュニティの発展と図書館利用促進につながっていることが認められ、大変嬉しく思っています。

具体的な取り組みとして、2024年10月から一般貸出を開始し、当初の19種類から86種類（一般貸出56種類、館内利用・団体貸出用30種類）に増やしました。

また、高齢者向けにボードゲームの出前講座を実施し、認知症予防やコミュニティづくりの支援をしております。市の地域福祉課や焼津市



大富地区サロンボランティア研修会

社会福祉協議会との連携により多くの参加者が集まり、好評を得ています。

さらに、「図書館でボードゲームをする日」や、ゲームを取り入れたイ



大井川図書館でボードゲームをする日 with ターンクルこども館

ベントなど、多世代で楽しめるイベントを開催しており、地域の子どもたちとその家族が集まる場を提供しています。館内の展示室で定期的に行っている「ボードゲームひろば」や「やいづっこべや」では、自由にボードゲームを楽しめる場所を提供し、図書館利用者とともに、障がい者支援施設、放課後児童クラブの子どもたちにも利用されています。

ボードゲーム導入後、利用者からは「図書館に行く機会が増え、子どもが本を読む良いきっかけになった」や「いろいろな人と一緒に楽しめる場ができて嬉しい」といった声が寄せられています。特に高齢者からは「ボードゲームを通じた交流が心の癒しになっている」との反響があります。このように、ボードゲームは単なる娯楽にとどまらず、地域における心の拠り所となっています。

大井川図書館のボードゲームの取り組みは、地域のコミュニティを豊かにし、図書館をより身近な存在にするための工夫の一環です。今後も、ボードゲームを通じて「本」と「人」と「まち」をつなぐ活動を継続し、多くの人々に楽しんでいただけるよう努力してまいります。

(焼津市立大井川図書館 主査 鈴木敏正)



ボードゲームの棚

袋井市立図書館

図書館を飛び出して！

袋井市は、従来よりこどもの読書活動推進に力を入れており、こどもと本をつなぐ取組として、ブックスタート、セカンドブック、サードブックと発達段階に応じ、3回にわたって絵本をプレゼントしながら本の楽しさを伝えたり、館内おはなし会や子育て支援センターでの講話などを通じて読み聞かせや読書の大切さを伝えたりしてきました。

しかしながら、デジタル化の世の中での「活字ばなれ」や図書館利用者の減少もさることながら、さまざまな事情でこどもだけで図書館を訪れることが減り、こどもの図書館利用が保護者の判断に左右される状況が生まれています。「図書館は敷居が高い」と感じている方にも読み聞かせや読書の楽しさを知り、図書館に足を運んでもらいたい。それには「図書館で待っているだけではだめだ！」と、図書館を飛び出し、令和4年度から月1回のペースで「出張としょかん ○○ de おはなし会」を始めました。

会場の選定は、日ごろから身近な存在である商業施設や運動施設、気にはなるが初めて行くには敷居が高い場所、各種イベント会場など、館内で候補を挙げてから、先方に活動の趣旨などを直接ご説明する方法を進めており、ほとんどの施設が賛同していただきます。



家具と雑貨の店

当日は、読み聞かせや図書館の案内、本の貸出を約30分、開催場所の説明や開催場所からのお知らせなどで約30分、計1時間のプログラムで実施しており、会場のご厚意により、品物や体験のプレゼントをいただくこともあります。会場と図書館の双方で来訪者を増やす相乗効果も狙っています。

開催後は「今後もぜひやりたい！」と言っただけも多く、最近では、施設側からのお声かけも増えてきました。

始めたころに比べて、活動も定着してきており、「出張としょかん」だけでなく、館内おはなし会の参加者も増えつつあります。

この活動が、こどもと読書をつなぐ架け橋の一助となっていることを信じ、ワクワクしながら次回開催場所を考えています。これからも地域の方々と連携しながら、読書活動の推進に取り組んでまいります。

(袋井市立図書館 館次長 白井啓子)



自動車販売店



温泉施設



生活雑貨店

静岡市立南部図書館

静岡市立南部図書館は、静岡市駿河区に位置し、多くの方にご利用いただいている拠点館です。当館は、平成30年より地域福祉共生センター「みなくる」等福祉関係団体との複合施設となり、地域福祉の推進、発信の施設となっています。

令和元年に「読書バリアフリー法」が施行され、高齢者や介護関係者の利用、問合せが増えていること、近隣にサービス付き高齢者向け住宅が建設されたこと等から、「だれもが利用できるバリアフリーな図書館」をめざし、福祉・高齢者サービスの充実を図っています。

まずは令和5年6月、館内の職員研修として「認知症サポーター養成講座」を開催、職員全員が「認知症サポーター」となりました。認知症の方の特性や「対応の心得 3つの「ない」=①驚かせない②急がせない③自尊心を傷つけない」を学んだことで、自信をもって利用者へと対応できるようになりました。研修は毎年継続して行っています。

そして、同年9月「世界アルツハイマー月間」における展示を実施するとともに、認知症に関する図書約100冊等を集めた、「認知症にやさしい図書館」の「オレンジの棚」を開架フロアの医療関係図書に近く設置、常設することにしました。この棚には、認知症の病気に関する図書だけでな

「認知症にやさしい図書館」の「オレンジの棚」へようこそ

く、サポート方法、当事者の体験談、予防、介護保険に関する図書、絵本もあります。また、管内の地域包括支援センターの案内や市で発行する介護保険パンフレット等もそろえ、設置以降、多くの方に閲覧、利用されています。

令和7年度は、さらに館内の福祉サービスについてまとめた「南部図書館福祉サービスガイド」の発行（図書館のウェブサイトからダウンロード可）、シニア世代向けの図書を集めた「いきいきシニアコーナー」の新設を行いました。このコーナーは「オレンジの棚」の近くにあり、①目指せ長寿、②暮らしの知恵、③先輩のことは、④日々の楽しみ、とシニア世代の興味や関心の高い資料を4つのカテゴリーに分け配架してあります。さらに、「書くことが認知症予防につながる」との考えから、読んだ本を50冊記録できる「いきいき読書ノート」（図書館作成）を限定100部で発行したところ、「書くことが楽しみ、励みになっている」とのお声をいただき、急遽増刷しました。

「オレンジの棚」は、認知症のシンボルカラー、オレンジ色と認知症サポーターキャラバンマスコット「ロバ隊長」が目印です。みなさまのご来館をお待ちしております。

（静岡市立南部図書館 館長 佐藤由乃）



「認知症にやさしい図書館」の「オレンジの棚」



いきいきシニアコーナー

